

## 南島史学会役員会議事録(第41回大会開催時)

2012年11月9日 17-1830(九州産業大学森谷研究室),

11月10日 1240-1340(九州産業大学2号館5階小会議室)

記録宮崎

出席者 赤嶺、清水、下川、原、原口、春名、松浦、森谷、宮崎

委任状提出 佐藤(塩月)、安岡

### 1. 規定の改正

目下、最終版である平成7年版の会則をもとに改正を検討した。当面、前体制の整理の意味で、変更は必要最限にとどめることとした。

「第二条を以下のように変更。本会の活動を円滑に行うために、事務所(本部)を設ける。」

附則の追加 「本会則は2012年11月7日より施行する。なお、…」

### 2. 新役員を選出

以下のように決定された。将来的には、評議員は選挙で選出したほうがよい。

会長 松浦先生、副会長 清水先生、森谷先生

理事 佐藤(塩月)、清水、下川、松浦、森谷、宮崎(敬称略、以下同様)

監査(監事)下川、宮崎

評議員 赤嶺、佐藤(塩月)、清水、下川、土肥、西里、原、原口、春名、卞、松浦、森谷、安岡、宮崎

編集委員 森谷、原、原口、宮崎

任期は平成24年11月10日から26年度の総会まで

### 3. 喜舎場先生の奥様からのご寄付について

5万円を寄付として計上する

### 4. 書類の扱い

喜舎場先生宅から森谷先生宛にダンボール16箱届き、不要なものは森谷先生の判断で廃棄。平成18年以前の領収書は廃棄することとする。元帳は保管。

### 5. 学会誌バックナンバーの保管

1部は学会用に森谷先生が保管。→いずれ製本しなければならない。今後論文をCD-ROM化する必要。目下、財政的に厳しいので、いずれ。

残部は今回の41回大会参加者に無料配布することとする。会員希望者には着払いで頒布してもよい。

喜舎場先生宅にあった製本されたバックナンバーは、八重山博物館へ寄贈された。

### 6. 学会の会計年度、会費の徴収方法の変更

森谷先生に 5 冊の通帳を一本化して頂く。現在現金 178,139 円と郵便振替 379,500 円 (2012 年 11 月 9 日現在) が残っている。

会費の徴収はゆうちょ銀行への振り込みにしたい。キャッシュカードを作成しており、今後担当者が交代しても、支障が出ない。

領収書は、依頼があれば必要に応じて発行する。

#### 7.名簿の作成

目下確認できるのは、120 名程度。今後、各人の情報を確認し(確認票について、名簿に記載してよい情報に○をする)、名簿はエクセルで作成し、製本はしない予定。

#### 8.学会誌の発行

印刷会社 ディグでの出版は、目下停止している状況。喜舎場先生奥様がこれについて、配慮してほしいとのこと。

発行時期 これまで年二回(5 月、11 月)発行していたが、当面年一回発行する。

今回の大会の原稿提出締め切りは 2012 年 12 月末とし、平成 24 年度内の発行をめざす。原稿用紙 30 枚まで。

編集委員 森谷、原口、原、宮崎

査読 査読制にしたほうがよい。次号から査読を行うこととする。査読の担当者はできるだけ学会内で依頼する。

#### 9.日本学術会議への申請

かつては登録団体だったが、その後登録から外れてそのままになっている。

以前の登録団体であれば、困難はないので、再度、登録したい。

#### 10.大会の進行

受付、司会などを決めた。

#### 11.次回の開催地

喜舎場先生ゆかりの八重山博物館(石垣島)の会議室ではどうか。

26 年度は、台湾基隆の台湾海洋大学が候補に挙がっている。

#### 12.その他

月例研究会を復活させたい。ただし、場所の確保が難しい。